

【はじめに】

地域と学校で 『共』に子どもを『育』てる



蒲郡市教育委員会教育長 壁 谷 幹 朗

コロナ禍のために、令和2年～3年の2年間開催できなかった「地域安全・青少年健全育成市民大会」でしたが、復活して3年目を迎えております。よりよい市民大会へと事務局の青少年センターの皆さんのご努力で、毎年見直しがなされてきました。特に、本年度からは、新たに海陽中等教育学校からも参加いただきました。

さて、本年度から、市内全地区で、学校運営協議会と地域学校共同活動を両輪とする、コミュニティ・スクールが始まりました。この地域学校協働活動におきましても、様々な活動が展開されています。本当にありがとうございます。

地域の特色といった点で、本年度、特筆される取組を2つ紹介します。

1つは、8月に開催された「形原っ子フェスティバル」です。これまでの「ふれあい活動」を見直し、総代区ごとに開催してきた活動を合同に変更し、夏祭りを兼ねたイベントを形原中学校運動場で実施しました。運営主体は地元の総代会でしたが、活動の中心を担ったのは形原中学校ボランティア106人の生徒でした。

ヘルメットゲームで参加者にルール説明した2年生の横田さんは、「小さい子が目の前で楽しんでくれてうれしかった。地域の人と関わるいい機会になりました。」と述べています。子どもたちが、地域の大人と一緒に取り組むことで、様々なことを学ぶよい機会になったことと思われます。

もう1つは、9月に開催された「蒲郡市地域文化財リーダーズ発表会認定式及び公開ガイドツアー」です。この事業は、文化庁助成事業の一環として、地域文化財のよりよい理解者、よりよい発信者の育成を期待し、蒲郡市独自の称号を位置づけたものです。この事業に中部中学校の27名の生徒が挑戦しました。

地域の文化財として、6つを選定し、「取材・吟味・整理・発表」の活動を通して、多くのことを学んでいきました。最終的には、蒲郡市内の6つのコースの現地ガイドとして活動していきました。当日、私も発表会認定式と「清田の大クス」のコースに参加しました。大クスを前に、チームで力を合わせ、これまで調べてきた成果を、時にはユーモアを交えながら発表する姿は、本当に素晴らしく、まさに「地域文化財リーダーズ」にふさわしい成長した姿でした。

これらの活動を通して、子どもが育ち、地域に活力が生まれ、子どもたちと地域との絆がより深まったのではないかと思います。子どもたちが、世代を超えた人たちと協働して学んでいくことは、いっそう地域への思いを高めていくことと思われます。

最後になりますが、青少年健全育成推進事業にご尽力をいただいております皆様方に深く感謝申し上げます、本事業のさらなる充実・発展をご祈念いたしまして結びとさせていただきます。

も く じ

は じ め に

I	令和6年度	蒲郡市青少年健全育成地域活動推進事業	-----	1
II	令和6年度	青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動	----	2
1	大塚地区	-----		3
2	三谷地区	-----		7
3	蒲郡地区	-----		11
4	中部地区	-----		16
5	塩津地区	-----		19
6	形原地区	-----		26
7	西浦地区	-----		31
	○令和6年度	健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ	---	35
III	令和6年度	補導及び児童・生徒の状況確認	-----	35
IV	令和6年度	青少年健全育成協力店	-----	36
V	令和6年度	地域安全・青少年健全育成市民大会	-----	37
	○大会宣言	-----		38
VI	令和6年度	子ども・若者支援活動報告	-----	39

お わ り に

I 令和6年度 蒲郡市青少年健全育成地域活動推進事業

1 地域ふれあい活動の変遷

蒲郡市は、昭和41年5月の「青少年を守る都市宣言」の決議から、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年健全育成市民運動を展開してきた。昭和56・57年度に文部省(当時)と愛知県から小中学校生徒指導研究推進地域指定を受けたことを契機に、各中学校区で青少年健全育成協議会を立ち上げ、学校主導でPTAを対象に非行防止の話し合いをする「ミニ集会」が誕生した。その後、地域主導、地域住民対象へと広がり、内容も健やかな子どもを育てるための多様な方法を試みる場として変化していった。

時代が平成へ移るころには、子どもたちの社会体験・経験不足が叫ばれるようになり、ミニ集会は話し合い活動から清掃活動などの実践活動へと移行していった。平成7年度から数年をかけて、「地域ふれあい活動」として、地域の実態を勘案し、様々な内容で行われるようになった。子どもたちの参加が増加し、より参加意欲を高めるために企画の段階から中学生を取り込む地区が増えている。地域で活躍する中学生の姿を見て、小学生は次代の自分を思い描き、地域の大人たちは子どもたちを見直す機会となる。子どもたちは、地域の多くの方々と顔を突き合わせ、共に活動し、声を掛け合いながら互いの絆を深め、地域を愛する心が培われる。それが、子どもたちの健全な育成につながる。「地域ふれあい活動」は、こうした意味でとても価値ある活動となっている。同時に地域の活性化や地域の人々のつながりを作る活動としても意義深いものとなっている。

このように蒲郡市の「地域ふれあい活動」は、時代とともに内容を少しずつ変え、現在に至っている。また、令和2年から長く続いた新型コロナウイルス感染症の流行のため、多くの地区で内容を見直すきっかけとなった。本年度はようやく全地区で本格的な活動が実施できるようになった。

2 市内の青少年問題

蒲郡警察署の「犯罪と少年非行」によれば、市内の犯罪触法少年の数は、10年前の平成26年を100(16人)としたとき、令和5年は81(13人)だった。ぐ犯・不良行為少年は、平成26年を100(731人)としたとき、令和5年は19(139人)と10年前に比較しても大きく減少している。令和5年に警察に補導された行為別では、深夜徘徊が115人(82.7%)、喫煙が16人(11.5%)となっており、合わせて94.2%を占めている。

小中学生の問題行動においては、市内全体としては大変落ち着いた状況であるが、やはり個々に見ていくと、家庭や本人に問題を抱え安定した生活を送ることのできない子どもたちもいる。とりわけ不登校については、令和5年度調査では、病気以外の年間30日以上欠席者は中学校で138人(6.7%)、小学校で51人(1.4%)であった。小中学校とも前年度より増加している。

青少年センター内の子ども・若者相談窓口では、メール相談ができる仕組みも整え、多様な相談に対応している。

Ⅱ 令和6年度 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動

1 健全育成協議会・準備運営委員会等

地 区	実 施 月 日	場 所	参加者数
1 大塚	4月25日 (木)	大塚公民館	21
	5月23日 (木)	大塚公民館	57
	2月20日 (木)	大塚中学校	22
2 三谷	5月13日 (月)	三谷中学校	18
	5月26日 (日)	三谷中学校	98
3 蒲郡	4月9日 (火)	蒲郡中学校	20
	5月9日 (木)	蒲郡中学校	115
4 中部	5月10日 (金)	中部中学校	64
	11月12日 (火)	中部中学校	42
5 塩津	5月11日 (土)	塩津中学校	82
	11月11日 (月)	塩津小学校	62
6 形原	4月6日 (土)	形原中学校	20
	5月12日 (日)	形原中学校	85
	1月11日 (土)	形原中学校	20
7 西浦	4月22日 (月)	西浦中学校	44
	5月9日 (木)	西浦公民館	53

2 地域ふれあい活動(ミニ集会・ミニ活動)

地 区	会場数	参加延べ人数	開催期間
1 大塚	4	1,260	6月8日 ～ 8月3日
2 三谷	1	400	11月24日
3 蒲郡	7	1,975	5月12日 ～ 11月24日
4 中部	6	1,533	5月18日 ～ 10月27日
5 塩津	9	2,022	6月2日 ～ 11月3日
6 形原	3	1,046	6月2日 ～ 8月24日
7 西浦	6	451	5月19日 ～ 7月7日
計	36	8,687	

1 大 塚 地 区

1 健全育成協議会運営委員会

4月25日(木)午後1時より運営委員21名が大塚公民館に集まり、令和6年度大塚中学校区青少年健全育成協議会第1回運営委員会を開き、以下の内容を協議した。

- (1) 令和6年度活動方針
- (2) 令和6年度活動計画
- (3) 令和6年度委託料予算
- (4) 令和6年度健全育成協議会のもち方
- (5) 3地区地域ふれあい活動
- (6) その他

・昨年度の健全育成協議会本会議で決定された「みんなわが子 手と手を取り合い育てよう 心豊かな大塚っ子」のスローガンのもと、活動の5本柱について意見を交流し合った。5本柱の中でも特に、3年間中止されていたふれあい活動が昨年から再開されたことについて意見交流をした。それぞれの立場でどのように関わっていたのか意見を出し合いすりあわせた。ふれあい活動は今年の活動を基準として、少しずつ例年のようにもどしていくために内容を考えて開催することを決定した。

2 大塚中学校区青少年健全育成協議会(参加者 57名)

- (1) 日 時 令和6年5月23日(木)13時45分～15時30分
- (2) 場 所 大塚公民館
- (3) 参加者 3地区総代、市議員、奉公社代表理事、

青少年センター長、公民館長、公民館主事、保護司、民生・児童委員、主任児童委員、人権擁護委員、更生保護女性会、蒲郡警察、交通安全事務局長、少年補導委員、老人クラブ代表、子ども会役員、小中PTA役員、おおつか児童館長、大塚・大塚西保育園長、地域学校協働活動推進員、小中高の学校関係者



<情報交換>

(4) 内 容

- ・地域と連携した学校づくりアンケートについて
- ・避難所開設担当職員の概要について

- ① 市民憲章唱和・・・・柴谷 武志 氏(大塚中学校PTA会長)
- ② 開会の言葉・・・・山口 俊明 氏(東大塚総代)
- ③ 主催者あいさつ・・・・小林 正敬 氏(協議会長、西大塚総代)
- ④ 来賓あいさつ・・・・守田 哲朗 氏(蒲郡警察署生活安全課長)
- ⑤ 協 議

ア ねらい

家庭・学校・地域及び関係諸機関が手を取り合って、地域ぐるみの青少年健全育成活動を展開し、心身ともにたくましい大塚の青少年を育成する。

スローガン

『みんなわが子 手と手を取り合い育てよう 心豊かな大塚っ子』

イ 活動内容

- ・地域ふれあいクリーン活動 6月8日(土) 10時00分～11時30分
大塚海岸→小学4～6年生・中学1年生・PTA役員・地域の人
中学校通学路清掃→西斜面 中学2年生 南斜面 中学3年生
13時30分～15時00分 大塚海浜緑地→蒲郡東高校ボランティア
- ・3地区地域ふれあい活動→規模を縮小するなどして、開催予定
- ・子どもたちを守る運動 校外補導 立ち番・巡回
- ・啓発広報活動 健全育成標語・ポスター・意見文を募集する

ウ 令和6年度予算

ふれあい活動推進費 59,000 円(負担金 58,950 円、諸経費 50 円)

健全育成協議会運営費 31,780 円(消耗品費 21,780 円、通信費 10,000 円)

⑥ 意見・情報交換

<地域> 保護司 人権擁護委員 主任児童委員 更生保護女性会
おおつか児童館 地域学校協働活動推進員

<学校> 蒲郡東高等学校長 大塚中校務主任 大塚小校務主任
大塚保育園長 大塚西保育園長

<地域としての話し合い>

- ・あいさつをしたいが、声をかけると不審者と間違われてしまうこともある。だからといって、周りの人たちに無関心にならないことが必要である。めげずに声をかけるので子どもたちからも積極的に声をかけてほしい。



<意見交換>

<交通ルールについて>

- ・旧道は道幅が狭くとても危険に感じる。その上、横断歩道を渡ろうとする人がいるのに、車がとまってくれない。ガードレールや信号の設置を呼びかけていくことも大切であるが、車を運転する側のマナーもしっかりしていきたい。

⑦ ご挨拶・・・・・・ 鈴木 洋 氏(蒲郡市青少年センター所長)

⑧ お礼の言葉・・・・ 多田 敦 氏(大塚中学校長)

⑨ 閉会の言葉・・・・ 鈴木 宏典 氏(相楽町総代)

・前年度の反省を生かし、今年は座席を移動し、それぞれの地区ごとで集まり話し合いをした。大変有意義な時間となったので、来年度はもう少し話し合いの時間を増やして、共通理解を深めていきたい。

3 地域ふれあい活動

- (1) 日 時 6月8日(土) 10時00分～11時30分(小・中) 午後～(蒲郡東高校)
- (2) 会 場 大塚海岸、中学校通学路(大塚中南・西斜面)、大塚海浜緑地
- (3) 参加者 約550名(小中生400名、教職員50名、PTA役員・地域の方々約100名)
- (4) 活動内容「大塚地区ふれあいクリーン活動」

(大塚海岸・中学校通学路清掃)

たくさんの地域の方々が参加しての活動となった。中学生は草取り、小学生は燃えないゴミを中心に回収した。共に汗を流す中で、自然と地域やPTAの人たちと声をかけあったり手助けをしたりと温かな交流がうまれた。きれいになった海岸を見て、達成感ときれいな海を守っていこうという気持ちが芽生えた。



<海岸清掃>

<参加児童・生徒の感想>

今年は地域の方が、海をきれいにするためにどのようなゴミを拾う必要があるのか事前に教えてくれました。実際海岸には、いろいろな種類のゴミが落ちていました。その中には海から流れてきた物や海岸に捨てられた物がありました。私は、たくさんゴミを拾い、生ゴミを捨てることは絶対にやめようと思いました。(小6)

海岸清掃できれいになった場所を見ると、あらためて自然の美しさを感じました。斜面にある草やゴミは驚くほど多く、地域の人たちや先生たちや仲間たちと力を合わせてきれいにしていくことができたのは、とても心に残りました。(中3)

東大塚地区

日時 7月7日(日)16時30分～20時30分

会場 大塚小学校【参加者 約400名】

テーマ 「みんなわが子 手と手を取り合い育てよう
心豊かな大塚っ子」

(大塚逃走中、PTA・中学生模擬店、ステージ発表他)

第1部は、テレビで人気の「逃走中」を行い、汗を流した。第2部のステージ発表では、たくさんのあたたかな声援が起こり、盛り上がった。また、PTAと中学生が中心となり食べ物の模擬店を運営した。全大塚地区の人たちが体を動かしながら、楽しめるさわやかな活動となった。



<ステージ発表>

<参加児童・生徒の感想>

司会を務めて、場の雰囲気を作り上げるのは難しかったけど、みんなが助けてくれました。ステージ発表では、地域の人や先生たちやいろいろな人が盛り上げてくれて、温かさを感じました。とても楽しい一日になりました。ふれあい活動は、小学生、中学生、地域の人たちみんなが関われる行事だと思うのでこれからも続けてほしいです。(中3)

西大塚地区

日時 8月3日(土)16時00分～21時00分

会場 西大塚区民会館 【参加者 約220名】

テーマ 「ふれあい盆踊り大会」

中学生イベント（輪投げ、風船つり、ボールすくい等）

小中学校PTA模擬店、盆踊り他

例年のように、「盆踊り大会」が行われた。

16時からの『チビッコ集まれ夏祭り』では、西大塚の中学生が4つのグループに分かれ、イベントの企画、運営を行った。小さい子ども達がひとつひとつのお店を回り、中学生がPTAの方と協力して楽しませることができた。ボランティアとして約20名の中学生が参加し、活気と笑顔あふれる活動となった。



<中学生イベント>

<参加児童・生徒の感想>

輪投げのお手伝いをしました。景品をたくさんとってもらうために、並べ方を工夫しました。小さい子どもたちが、景品をとってうれしそうにしている姿を見て、ボランティアをやったよかったと思いました。みんなが笑顔になってうれしかったです。この会を開催してくれた地域の人たちに感謝をしています。ありがとうございました。（中3）

相楽地区

日時 8月3日(土)17時00分～20時00分

会場 相楽生活センター 【参加者 約90名】

テーマ 「夏祭り・親子ふれあい活動」

（模擬店、盆踊り、ビンゴゲーム他）

相楽町地区は少ない人数ではあるが、PTAと地域の方々がひとつになって、かき氷、焼き鳥、団子などの模擬店を行った。役員の方はそろいのTシャツを作って活動しており、地区を愛する気持ちが伝わってきた。地域の方々が模擬店のやり方を生徒に丁寧に説明をし、生徒達もいきいきと楽しく活動することができた。アットホームでとても温かな感じのする空間が広がっていた。



<模擬店>

<参加児童・生徒の感想>

自分が作ったかき氷やだんごを地域の人たちや子ども達がおもしろそうに食べてくれてすごくうれしかったです。相楽地区はとても人数が少ない地域ですが、みんなが知り合いで家族みたいに仲がよいところが自慢です。これからも、このようなふれあい活動を大切にしていきたいと思いました。（中3）

2 三 谷 地 区

本年度の三谷地区青少年健全育成協議会のテーマを「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」とし、日常的に行うあいさつ運動や防犯を意識した活動に取り組んだ。健全育成協議会準備会及び全体会と地域ふれあい活動については、予定通り開催することができた。

1 健全育成協議会準備会

- (1) 日 時 令和6年5月13日（月）
18時00分～19時00分
- (2) 場 所 三谷中学校会議室
- (3) 参加者 各区総代、小中学校PTA役員
学校関係者（計18名）



2 青少年健全育成協議会

- (1) 日 時 令和6年5月26日（日） 9時00分～10時30分
- (2) 場 所 三谷中学校 体育館
- (3) 参加者 各区総代、市議会議員、民生委員・児童委員、主任児童委員
少年補導委員、保護司、公民館長、高砂会、更生保護女性会委員
三谷祭保存会会長、各区保存会会長
小中学校PTA役員、PTA実行委員
子ども会役員、交通指導員、保育園園長、児童館長
地域学校協働活動推進員、小中高等学校関係者（計98名）
〔来賓〕 蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
蒲郡警察署生活安全課長 守 田 哲 朗 氏

(4) 内 容

避難所開設担当職員紹介（紙面での紹介のみ）

市民憲章唱和（三谷中学校PTA副会長 小澤 理恵 氏）

① 開会のことば（総代会副会長 平野 良則 氏）

② 三谷地区青少年健全育成協議会規約および役員の承認
会長 松区総代 鈴木 正 氏 はじめ17名の承認

③ あいさつ

- 三谷地区青少年健全育成協議会会長 鈴木 正 氏
- 蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
- 蒲郡警察署生活安全課長 守 田 哲 朗 氏
- 学校代表 三谷中学校長 尾 崎 佳 孝 氏

④ 本年度の活動

○ テーマとねらい

テーマ「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」

重点目標 ・家庭、地域、学校、関係諸機関の連携を密にして、地域ぐるみで三谷地区の青少年を見守り、育てる活動を推進する。
・地域ふれあい活動を通して、地域の教育力を高める。
・あいさつ運動や日常の声かけを通して、青少年の健全育成と明るい地域社会を築く。

○活動計画

・あいさつ運動

・三谷ふれあいフェスティバル…11月24日（日）に実施

⑤ 各区分科会と報告

⑥ 閉会のことば （主任児童委員 石井 佳子 氏）

あいさつ運動では、本年度もPTA役員を中心に、学校単位で計画される計22回の活動に加え、あいさつを通して日常的に子どもたちとふれあっていくため、大人から地域の子どもたちにあいさつをするよう心がけた。平日の登下校時の見守りとともに、祭礼時の見守りや声かけを行った。あいさつ運動同様、今後も地域住民に重点目標の周知を図り、活動に対する理解を得る必要があると考える。地域全体で子どもたちを見守っていく姿勢を大切にしていきたい。

【各区分科会】

各区総代を中心に分科会を行い、情報交換や地区の子どもたちの安全に関する相談を行った。各区で挙げられた主な意見は以下の通り。

東区：自転車に乗っている中学生、道路の斜め横断や飛び出しが多いので、学校でも注意喚起をお願いしたい。

松区：寺戸公園で野球をしている中学生がいる。小さい子や高齢者がけがをしないか心配。

上区：小学校低学年で通学路を分かっていない子がいるので、ていねいに指導する必要がある。

中区：港町周辺、空き家が多く心配。

北区：三谷小北の点滅信号がなくなったことで交差点でどの方向の車の通行が優先なのかわからず困っている。

西区：旧市民プール駐車場に無断で車中泊をしている車をよく見かける。防犯カメラ設置など具体的な対策を望む。



3 地域ふれあい活動

日 時：令和6年11月24日(日)9時00分～11時40分

会 場：三谷小学校運動場 【参加者 400名】

テーマ：「三谷ふれあいフェスティバル」

三谷地区のふれあい活動は、平成30年度より「三谷ふれあいフェスティバル」として6区合同で行っている。総代会を中心に、公民館、小・中学校PTA、子ども会、三谷祭保存会、スポーツ推進委員、消防団から構成される実行委員で企画や準備を進めた。

内容としては、例年通り、子どもからお年寄りまで参加することのできる町民運動会を軸にしたふれあい活動である。また、消防車への乗車体験や放水体験など、防災に関する取り組みもこれまで行われており、今回も、子どもを対象に消防車との写真撮影が企画されている。

本年度は、コミュニティースクールを意識した地域とともに生きる子どもたちの育成をねらい、小中学生に運営のお手伝いをするボランティアを募集するという取り組みを行った。

10月中旬に、「ふれあい活動説明会」として、総代会会長とスポーツ推進委員に来校してもらい、ふれあい活動の意義や具体的な競技・ボランティアの仕事内容を説明していただく機会を設けた。

これにより、小学生28名、中学生41名がボランティア参加の希望を出し、さまざまな形で運営のお手伝いをするようになった。

11月24日(日)三谷ふれあいフェスティバル

プログラム⑦ 綱引き 第1部 (中学生オープン参加)
 プログラム⑧ 綱引き 第2部 (一般の方オープン参加) (高校生～60歳未満)

⑦/⑧の係員は中学生です
 綱を出したり、綱の中心をそろえたりします。(10人)

ふれあいフェスティバル
 全体の放送は中学生です。
 種目の紹介をしたり
 実況をします。(4人)

三谷地区の中学生の皆様へ

令和6年10月吉日

三谷総代会長 鈴木正

三谷公民館長 平野良則

「第5回三谷ふれあいフェスティバル」参加のお願い

このたび、三谷地区では令和6年度のふれあい活動及び防災活動として「第5回三谷ふれあいフェスティバル」を実施します。三谷地区全体で行う行事として昨年に引き続き行います。三谷地区の皆さんが一つの場所に集まって一緒にふれあい活動を行い、三谷の住民同士の絆を深めて地域の力を高めようとするものです。これには中学生の方々の力がぜひとも必要です。多くの皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

1 開催日時 令和6年11月24日(日) 9時～11時40分
 (集合時間・場所は各区回覧板でお知らせいたします。)

2 場 所 三谷小学校運動場

3 ふれあいフェスティバルの内容

No	演 技 種 目	予定時刻	参加者
1	開会式	9:00	全員 (トラックの中)
2	三谷町民ラジオ体操	9:10	全員
3	けんきにかけっこヨーイドン	9:15	保育園児・幼稚園児 (オープン参加 OK)
4	ボール落とし	9:35	中学生 (オープン参加 OK)
5	紅白玉入れ	9:50	60歳以上の方 (オープン参加 OK)
6	移動紅白玉入れ	10:05	小学生 (オープン参加 OK)
7	綱引き 第1部	10:20	中学生 (オープン参加 OK)
8	綱引き 第2部	10:35	一般の方 高校生～60歳以下の人 (オープン参加 OK)
9	消防車といっしょに写真を撮ろう	10:50	消防団第二分団 園児・小中学生・一般の方 (オープン参加 OK)
10	各区対抗リレー	11:10	各区1チーム (6区対抗リレー)
11	閉会式	11:30	全員(各区のデントの場所)

※参加費がありません

《各区の色》
 西区—黄色 北区—緑色 中区—桃色 上区—青色 松区—赤色 東区—白色

【プログラム】



【放送を担当する中学生】

【中学生が背負ったか
ごの中に小学生が玉を
入れる 移動紅白玉入
れ】



【中学生同士で競う 綱引き 第1部】

当日は昨年度の人数を 100 名近くこえる約 400 名の住民が集まり、玉入れや綱引き、リレーなど、子どもから大人までさまざまな世代が競技に参加する姿が見られた。また、ボランティアだけでなく、競技に参加するために集まった小中学生の数も多く、「自分たちの力で三谷の町を盛り上げよう」という心意気が感じられた。そして、彼らを支える大人たちの温かさ、団結力の強さも感じられ、三谷地区のつながりの強さをあらためて感じる事ができた。

今後は、小中学生の代表が企画の段階から参加させてもらい、より子どもたちが「自分たちの力で作りあげた」という達成感や充実感が味わえるようなふれあい活動にしていきたいと考えており、学校と総代会や地域の方々の、よりいっそうの連携を深めていきたい。



【玉入れの数を数える中学生】

3 蒲 郡 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 健全育成協議会準備会(学区総代会)

- ①日 時 令和6年4月9日(火) 10時00分～
- ②場 所 蒲郡中学校 図書室
- ③協議事項
- ・前年度の協力費決算報告について
 - ・前年度の協議会・地域ふれあい活動の活動報告について
 - ・本年度の協力費予算案について
 - ・本年度の活動方針・地域ふれあい活動に向けて
 - ・本年度の協議会次第について
- ④出席者 学区各総代、各小中学校の校長・教頭・蒲郡中校務主任(計20人)

(2) 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会

- ①日 時 令和6年5月9日(木) 10時00分～
- ②場 所 蒲郡中学校 体育館
- ③内 容
- | | | |
|--------------------------|-------------------------------|---------|
| a 開会の言葉 | 蒲郡中学校PTA会長 | 武市 教児 氏 |
| b 市民憲章唱和 | 蒲郡中学校PTA副会長 | 柴田 美香 氏 |
| c 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会会長あいさつ | | |
| | 学区青少年健全育成協議会会長 | 大場富士弥 氏 |
| d 来賓あいさつ | 蒲郡市青少年センター所長 | 鈴木 洋 氏 |
| | 蒲郡警察署生活安全課長 | 守田 哲朗 氏 |
| e 協議事項 | | |
| ア 令和5年度 | 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会活動報告ならび決算報告 | |
| イ 令和6年度 | 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会基本方針ならび予算案 | |
| ウ 小・中・高等学校における | 児童生徒の実態と生活指導上の諸問題について | |
| エ 令和6年度 | 地域ふれあい活動について | |
| | ・本年度の活動方針ならび今後の予定 | |
| | ・本年度の活動計画または実践報告(各地区総代・公民館館長) | |
| f 話し合い(意見交流) | | |
| | ・最近の子どもたちの様子について | |
| | ・「あいさつができる子を育てるために」 | |
| | それぞれの立場で何ができるか、アイデアを出しあう | |
| g 閉会のことば | 蒲郡中学校長 | 伊藤 孝明 氏 |
- ④参加者
- 蒲郡警察署生活安全課長、市議会議員、青少年センター所長、人権擁護委員
各区総代、保護司、公民館館長・主事、民生委員・児童委員、少年補導委員
更生保護女性会、小中PTA役員、保育園園長、地域学校協働活動推進員
各小中高・学校関係者 (計115名)

会の冒頭で令和6年度の蒲郡中学校区健全育成協議会会長に、豊岡1区の大場富士弥氏が選出された。協議では、生きる力を身につけた子どもを育成していくために、青少年を健全に導くことを主眼とし、家庭・学校・地域の大人が、

- ・地域の子どもたちを知る
- ・地域の子どもたちとあいさつをする
- ・地域の子どもたちのよい点をほめ、よくない点は注意する
- ・地域を知らせ、自分の故郷に愛着を感じさせる
- ・地域で子どもたちを守る

とする活動方針が承認された。協議会の後半は、グループで話し合う時間を設けた。まず「最近の子どもたちの様子」について、よい点と気になる点について意見を出しあった。次に「あいさつができる子を育てるために」というテーマで、それぞれの立場でできることについて、アイデアを出しあった。あいさつについては、以下のような意見が出された。

1 学校でできること

- ・あいさつの必要性を子どもたちが話し合う場をもつ
- ・あいさつ運動、あいさつ集会を行う
- ・蒲中学区4校であいさつの日を設けて活動する

2 地域や家庭でできること

- ・登下校時に会ったら、必ずあいさつをする
- ・とにかく声をかけて、コミュニケーションをとっていく
- ・登下校の見守りを行い、その時に声をかける
- ・大人が手本になる 大人もいっしょにあいさつ運動をする

3 子どもたちとあいさつをするために、心がけていきたいこと

- ・笑顔＋アイコンタクト＋名前＋相手よりも先にあいさつをする
- ・ふれあい活動などの地域の行事で、子どもたちと顔見知りになる企画を考える
- ・子どもから返事がなくても気にしない（あいさつをしない理由は様々あるため）

どのグループでも人と人がつながるあたたかい学区をめざし、あいさつの必要性を感じながら意見交流が行われた。蒲郡中学校区青少年健全育成協議会に参加していただいたすべての方が、あいさつができる子どもの育てるために、自分ができることは何かを真剣に考えていただく貴重な機会となった。

2 「地域ふれあい活動」日程

地区名	日 時	場 所	活 動 内 容
蒲郡西	5/12(日)	蒲郡公民館～上ノ郷城	健康づくり「レク・歩こう大会」
港区・栄町	5/26(日)	港町西公園	駅・公園の周辺の清掃活動
小江町・港区	8/6(火)、7(水)	勤労福祉会館	盆踊り大会
府相区	9/29(日)	竹島小運動場	ニュースポーツ大会
豊岡町1・2区 五井町 平田町	10/20(日)	蒲郡東部小学校運動場	東部地区民体育祭
蒲郡東・新井形町	11/3(日)	各避難場所 ～蒲郡中体育館	自主防災訓練
三谷西	11/24(日)	神明神社 ～三谷小学校運動場	自主防災訓練 三谷ふれあいフェスティバル

3 各地区「地域ふれあい活動」

本年度は、コロナウィルス感染症による制限がないなかで行われた。規模を拡大した活動に不安もあったが、地域の方のご尽力により無事に開催することができた。

蒲 郡 西



日 時 5月12日(日) 9時00分～12時00分
会 場 蒲郡公民館～上ノ郷城 【参加者 約60名】
テーマ 「地域での『ふれあい』と『つながり』を大切に」

本年度も蒲郡の歴史の学習とウォーキングを兼ねた活動を行った。上ノ郷城を中心に、赤日子神社、正行院、鶴殿長照墓碑を巡った。西部公民館では、博物館の学芸員から、市内で一番古い赤日子神社の由来や鶴殿氏のルーツについての講演があった。その後はクイズ大会が行われ、参加した小学生が進んで解答するなど大変盛り上がった。ウォーキングで地域の人たちと

<上之郷城跡をバックに記念撮影>

の会話を楽しみつつ、蒲郡の歴史を楽しく学ぶことができる活動となった。

港 区・栄 町

日 時 5月26日(日) 9時00分～10時00分
会 場 港町西公園 【参加者 約60名】
テーマ 「駅周辺・公園内の清掃美化」

本年度も駅周辺・公園内の清掃活動を行った。生徒たちは地域の人たちと学校での授業のことや部活動の話しながら、ごみ拾いをした。毎年この活動に参加している生徒からは「ごみが減っている」という声が上がった。地域の人たちの日々の地道な活動により、駅周辺の環境が美しく保たれていることに改めて気づくことができる機会となった。



<蒲郡駅周辺の清掃をする生徒>

小江町・港区

日 時 8月6日(火) 7日(水)
会 場 勤労福祉会館 【参加者約520人】
テーマ 「盆踊り大会」

当日はたくさんの地域の人たちが集まり、大変盛り上がった。やぐらを囲み盆踊りを楽しむ地域の人たち、風船つりや輪投げを楽しむ幼児や小学生の姿が見られた。中学生はボランティアとして参加し、いっしょに盆踊りをしたり、笑顔で丁寧に小さな子を接客したりして、会の運営・進行を支えていた。人と人とがつながり、会場全体にたくさんの笑顔があふれる盆踊り大会となった。



<やぐらの上で踊る中学生>

最初から最後までお客さんの対応ですごく大変だったけど、やり切った後の達成感が大きくて気持ちよかったです。人の役に立つ喜びを改めて感じました。これからも人助けができることがあったら積極的に行動していきたいです。(中3女子)

東 部 地 区

豊岡第一、豊岡第二、五井、平田



＜アナウンスをする中学生＞

会場全体で応援する雰囲気、東部地区の人と人とのつながりの強さを感じることができた。大人と子ども、みんなで笑顔あふれる体育祭を創り上げることができた。

日 時 10月20日(日) 9時00分 ～ 12時30分

会 場 蒲郡東部小学校運動場【参加者 約440名】

テーマ 「東部地区民体育祭」

開会式では、代表の生徒が「大人と子ども、みんなでつくりあげる会にしたい」とあいさつし、68回目の東部地区体育祭が開催された。中学3年生はボランティアとして「地域の人や仲間たちが笑顔になる体育祭にしたい」という思いをもって参加した。当日は気持ちのよいアナウンスや手際よく器具の準備・片付けをするなど、体育祭の進行を支えていた。競技に参加する人を

体育祭を創っていく立場になると、創り上げる楽しさと苦労がありました。中学生が何かを創ることは、「蒲中を創っていく」私たち3年生の役割にも重なると感じました。そして、人に任せておけばよいのではなく、一人一人が行動する大切さを改めて知ることができました。この貴重な経験を、次は自分たちの学校生活に生かせるように、蒲中の先頭に立って頑張っていきたいです。
(中3女子)

府 相 区

日 時 9月24日(日) 9時00分 ～ 12時30分

会 場 竹島小学校運動場【参加者 約430名】

テーマ 「府相区ニュースポーツ大会」



＜モルックの審判をする中学生＞

本年度より地区体育祭からニュースポーツ大会へと、内容を大きく変更して開催された。当日は、幼児はミニモルックやミニラダーゲッター等、小中学生はモルック、地域の大人はワンバウンドふらばーるバレーボール等に参加した。どの競技でも、チームで声をかけあいながら、笑顔で楽しむ姿が見られた。ボランティアとして幼児・小学生のモルックの審判をした中学生は、小さな子と目を合わせながら丁寧にルールを説明したり、声かけをしたりしていた。新しい試みで戸惑う場面がたくさんあったが、参加した人全員が笑顔で声をかけあい、助けあいながら会を成功させることができた。府相区のあたたかさを強く感じるこ

とができる機会となった。
僕はモルックの審判などの手伝いをしました。うまくいかないことも多かったけど、仲間と協力しながら進めることができました。ボランティアとして参加して、地域の人たちの楽しそうな笑顔を見ることができて、やりがいを感じました。地域の人とのかかわりあいもできて、とてもよい経験になりました。
(中3男子)

蒲郡東・新井形町

日 時 11月3日(日) 9時00分 ～ 11時30分
会 場 各避難場所→蒲郡中学校【参加者 約65名】
テーマ 「自主防災訓練」

本年度は、総代さんとの事前の打ち合わせのなかで、「実際に大地震が起きたときの避難所の開設・運営について、学校といっしょに考えたい」というお話があった。そこで、蒲郡市の避難所運営マニュアル(本編)をもとに、自主防災訓練を行った。ボランティアとして参加した中学1、2年生たちは避難所の受付、避難所のルールの説明等を務めた。また、学校の防災倉庫や貯水槽を巡り、地域の人といっしょに簡易テントやトイレの組み立て、ポンプで貯水槽から水をくみ上げる活動を行った。地域と学校が災害時の対応についていっしょに考え、体験することができる貴重な機会となった。



＜地域の人と協力してテントを組み立てる中学生＞

今年は2回目の参加でした。去年より地域の人とかかわりながら活動ができました。体験では、いっしょにテントを組み立てたり、非常食を食べたりしながら、地域の人とコミュニケーションをとることができました。地域の人が笑顔で優しく話してくれたので、なごやかな雰囲気の中で活動に取り組むことができました。また、少人数での活動だったので、自分から主体的に活動に取り組むことができました。(中2女子)

三 谷 西 区

日 時 11月24日(日) 7時50分 ～ 11時30分
会 場 神明神社～三谷小学校 【参加者 約400名】
テーマ 「自主防災訓練 三谷ふれあいフェスティバル」

昨年度と同様、朝、神明神社にて自主防災訓練を行い、その後「三谷ふれあいフェスティバル」が開催された。競技は玉入れ、綱引き、区対抗リレー等が行われた。多くの競技がオープン参加のため、各競技ともたくさんの人が参加することができた。即席のチームにもかかわらず、参加したみんなが打ち解けられる雰囲気をつくり出せる三谷地区に、団結の強さとあたたかさを感じることができた。



＜綱引きに参加する生徒たち＞

4 まとめ

本年度は、多くの総代区でコロナ禍以前のかたちでふれあい活動が行われた。活動の規模拡大、活動内容の変更により、地域の皆様には多くの労力を費やしご協力いただいたことに感謝を申し上げる。そのおかげで、人とつながるよさや自分たちの住む地域のよさを改めて感じることもできた。来年度も地域の皆様とともに、蒲郡の未来を担う子どもたちを育てる活動をさらに充実させていきたい。

4 中 部 地 区

1 中部中学校区青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和6年5月10日(水) 9時00分～11時00分

(2) 場 所 中部中学校 体育館

(3) 参加者<64名>

学区総代、学区市議会議員、民生委員・児童委員、
保護司、更生保護女性会、少年補導委員、
主任児童委員、人権擁護委員、地域学校協働活動
推進員、公民館長、PTA会長、PTA関係部長
子ども会会長、
学校長、校務主任、中部中学生指導主事



<地区協議会の様子>

(4) 内 容

- | | |
|-------------------------|---|
| ① 市民憲章唱和 | (先唱 蒲郡北部小学校 校務主任) |
| ② 開会の言葉 | |
| ③ 学区校長あいさつ | (中部中学校長) |
| ④ 令和6年度協議会会長、副会長の承認について | |
| ⑤ 協議会会長あいさつ | (神ノ郷町総代 倉橋 勝良 氏) |
| ⑥ 来賓あいさつ | (青少年センター所長 鈴木 洋 氏)
(蒲郡警察署生活安全課長 守田 哲朗 氏) |
| ⑦ 各学校の様子について | (各小学校校務主任・中部中学生指導主事) |
| ⑧ 協議 | ・中部中学区児童生徒の様子と生徒指導上の問題点
・令和6年度「地域ふれあい活動」について |

協議で出された意見の一部

- ・学区の子は、あいさつができる子が多い。
- ・通学路の防風林がのび、カーブミラーにかかっている箇所がある。
- ・ゴミステーションのごみが散乱し、通学に支障をきたしている場所がある。
- ・ゲンキーの交差点、交通量が多く危険。市に要望を出していく。
- ・学区に空き家はあるが、子どもの遊び場やたまり場にはなっていない。

2 中部中学校区青少年健全育成協議会運営委員会(地域ふれあい活動反省会)

(1) 日 時 令和6年11月12日(火) 10時00分～11時15分

(2) 場 所 中部中学校 響・図書室

(3) 参加者<42名>

学区市議会議員、学区総代、
民生委員・児童委員代表、保護司代表、
主任児童委員代表、更正保護女性会代表、
地域学校協働活動推進員、公民館長、子ども会会長、
PTA会長、PTA関係部長、
学校長、校務主任、中部中学生指導主事



<地区協議会の様子>

(4) 内 容

- ① 市民憲章唱和 (先唱 蒲郡北部小学校 校務主任)
- ② 協議会会長あいさつ (神ノ郷町総代 倉橋 勝良 氏)
- ③ 来賓あいさつ (青少年センター所長 鈴木 洋 氏)
- ④ 各学校の様子について (各小学校校務主任・中部中学生指導主事)
- ⑤ 協議 ・中部中学区児童生徒の様子と生徒指導上の問題点
・令和6年度「地域ふれあい活動」の反省

協議で出された意見の一部

- ・登下校で地域の方の見守りをしてもらってありがたい。子どものマナーもよい。
- ・北部小と西部小が一緒になることへの不安や楽しみな気持ちがよく話題に上がる。今後、2地区の交流を増やしていけるようにしたい。
- ・西部の交通量が多い。バイパスが完成すれば交通量が減るのか。
- ・水竹公園の利用者が多い。東側の横断歩道に押しボタン信号を要望している。
- ・スケボーの安全対策の提示が必要。旭公園では、他の子が危険になっている。
- ・中央小盆踊りは過去最高の参加人数だった。子どもも大人も踊れるように、やり方を工夫していく必要がある。(中学生が小学生に教える。よさこいを取り入れるなど)
- ・来年度はSNSの使い方における問題点について話題にしてもよいのではないか。

3 各地区のふれあい活動

神ノ郷町総代区

日 時 5月18日(土) 12時45分～15時30分
会 場 蒲郡西部小学校運動場【参加者約400名】
テーマ 「西部地区体育祭」

西部学区在住の児童生徒が選手として出場したり、中学生は競技役員として体育祭の運営に参加したりした。幼児から高齢者の方まで幅広い年代が参加し、たくさんの笑顔が見られた。地域の交流を深めるよい機会となった。

競技に使う道具を準備するたびに、地域の方が、「ありがとう」「助かったよ」などと温かい言葉をかけてくださいました。地域の温かみを改めて実感しました。(中1男子)



<西部地区体育祭>

坂本町総代区

日 時 6月9日(日) 13時30分～15時30分
会 場 中央公園グラウンド【参加者約70名】
テーマ 「グラウンドゴルフ大会」

雨天のため順延して行われたグラウンドゴルフ大会。和気あいあいとした中で楽しくプレーする姿が見られ、地域の方々と小中学生の貴重な交流の場となった。

ふれあい活動で、たくさんの人とかかわることができてよかったです。改めて坂本のよさを知ることができ充実した日曜日でした。これからも地域の人との関わりを大切にしていきたいです。(中2女子)



<グラウンドゴルフ>

中央小学区
吉光・栄町・蒲形・小江
蒲郡西・宮成 総代区

日 時 8月2、3日（金、土）19時00分～21時00分
会 場 中央小学校グラウンド【参加者約700名】
テーマ 「盆踊り」

2日間にわたって中央小学校運動場にて開催された。保存会の「ちゃらぼこ」の発表や抽選会など、楽しく参加できるように工夫して運営されていた。

笛を披露している時、目の前にいる人々の笑顔を見て、本当に温かい方々に見守られているのだと感じました。これからも、地域の方と関われる場に、積極的に参加していこうと思いました。（中1女子）



<盆踊り>

中央小学区
吉光・栄町・蒲形・小江
蒲郡西・宮成 総代区

日 時 10月5日（土）8時00分～9時00分
会 場 中央小学校周辺【参加者約150名】
テーマ 「草刈り・ごみ拾い」

今年は熱中症の心配がない10月に時期を変えて実施された。多くの地域の方々や児童生徒が協力して、中央小周りの雑草や、落合川沿いの竹を捨てることができた。

竹を折りながら捨てていて「大変だな」と思ったけど、やりがいを感じました。今後もこのような活動に参加して、地域のためにできることを全力でやりたいです。（中1男子）



<草取り>

水竹町総代区

日 時 10月6日（日）9時00分～11時00分
会 場 中部中学校他【参加者約113名】
テーマ 「自主防災訓練」

中部中にて、消火体験、市役所防災課の方による地震の備え講話、中部中生による防災クイズを行った。和気あいあいと、防災について多岐にわたって学ぶことができた。

市役所の方のお話はとてもありがたいもので、南海トラフ大地震への備えをしっかりとしないといけないと思われました。私たち中学生のクイズで多くの方の笑顔が見られ、とてもうれしく思いました。（中3女子）



<消火体験>

清田町総代区

日 時 10月27日（日）9時00分～11時30分
会 場 蒲郡北部小学校体育館・運動場【参加者約100名】
テーマ 「自主防災訓練」

常会ごとにごみ拾いをしながら北部小へ集合し、消火体験、消防団の放水見学、仮設テントやトイレの設置体験などを行った。児童生徒も興味をもって参加することができた。

家族で参加したのですが、母は消火器を使ったことがあるそうで、手慣れていて驚きました。今後もいざという時のために、様々なことを知り、経験していきたいと思いました。有意義な時間を過ごせてよかったです。（中3女子）



<仮設テント設置体験>

5 塩 津 地 区

本年度の塩津地区青少年健全育成協議会のテーマを「～みんなして 声かけあって 育てよう～ 市民ぐるみの『青少年健全育成地域活動』」とし、日常的な青少年への声かけ運動や地域の見回りなどに取り組んだ。

本年度は数年ぶりに、すべての地区でふれあい活動を行うことができた。それぞれの地区で地域の方々と小中学生との交流が見られ、地域の健全育成活動を盛り上げた。

1 第1回青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和6年5月11日(土) 13時30分～15時00分

(2) 場 所 塩津中学校 体育館他

(3) 内 容

- 市民憲章唱和 塩津中PTA副会長
- あいさつ
 - ・塩津地区健全育成協議会会長 榊 原 関 保 氏
 - ・蒲郡市青少年センター所長代理 平 松 美由紀 氏
 - ・蒲郡市役所交通防犯課長 磯 貝 友 宏 氏
 - ・蒲郡市議会議員 千 賀 充 能 氏
- 情報交換
 - ・蒲郡警察署生活安全課長 守 田 哲 朗 氏
 - ・塩津小学校の様子 林 正 人 氏
 - ・塩津中学校の様子 藤 田 正 和 氏
- 協 議
 - ① 塩津地区青少年健全育成協議会規約について
 - ② 地区協議会【進行 地区代表】
 - ・自己紹介
 - ・最近の児童・生徒の姿
 - ・問題になる遊び場・危険箇所
 - ・地域ふれあい活動
 - ③ 全体協議会
 - ・各地区協議会の発表
 - ・全体質疑
- 閉会あいさつ・塩津公民館長 牧 野 満 文 氏

2 第2回青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和6年11月11日(月) 13時30分～15時30分

(2) 場 所 塩津小学校 体育館

(3) 内 容

- 市民憲章唱和 塩津小PTA副会長代理
- あいさつ
 - ・塩津地区健全育成協議会会長 榊 原 関 保 氏
 - ・蒲郡市青少年センター所長 鈴 木 洋 氏

	・蒲郡市役所交通防犯課長	磯 貝 友 宏 氏
	・蒲郡市議会議員	千 賀 充 能 氏
	・蒲郡市議会議員	新 實 祥 悟 氏
○情報交換	・蒲郡警察署生活安全課長	守 田 哲 朗 氏
	・塩津小学校の様子	林 正 人 氏
	・塩津中学校の様子	藤 田 正 和 氏

○協 議

① 地区協議会【進行 地区代表】

- ・自己紹介
- ・最近の児童・生徒の姿
- ・問題になる遊び場・危険箇所・地域ふれあい活動

② 全体協議会

- ・各地区協議会の発表
- ・全体質疑

○閉会あいさつ・塩津公民館主事

中 田 照 男 氏

【第1回参加者（82名） 第2回参加者（62名）】

各区総代、副総代、地区市議会議員、地区常会長、蒲郡警察署生活安全課長
蒲郡市役所交通防犯課長、人権擁護委員、更生保護女性会、少年補導委員、
保護司、民生委員・児童委員、主任児童委員、各区祭り保存会、健全育成担当区議員
塩津公民館長、塩津公民館主事、塩津保育園園長、鹿島こども園園長、
しおつ児童館長、子ども会役員、小中学校PTA役員、地域学校協働活動推進員、
小中学校関係者

【最近の児童・生徒の姿】

- ・小中学生ともに、とても行儀が良い。
- ・大人から挨拶すれば、元気よく挨拶が返ってくるが、子どもから率先しての挨拶は殆どない。
- ・新1年生（小学生）が一人で帰っているところを見かけることがあるので、帰る道を考えてほしい。
- ・コンビニに中学生がたまっていることがある。
- ・スポーツ広場で小さい子から中学生までよく遊んでいてよい。
- ・最近子どもの数の減少を感じる。子ども会の参加者も少ない。



<地区協議会>



<全体協議会>

3 地域ふれあい活動

西 迫

日 時 7月24日(水) 17時00分～19時00分
会 場 西福寺 【参加者約110名】
テーマ 夏祭り

今年度は昨年度の夏の親睦会の夏祭りを地域ふれあい活動として開催した。射的や輪投げなどのゲームや、フランクフルトやかき氷などの軽食も企画した。小学生や中学生と地域の方々との交流が減ってきている中、年齢を問わず楽しむことができた。皆さんの協力で無事に開催できた。



【ふれあい活動感想文より】

今年は夏祭りをしました。最初は雨がパラパラ降っていて、雷もなっていたのでやるか不安になりました。少し雨が降ったけど、そのあとは天気良くなって、本当に良かったです。夏祭りやモルックをしながら、普段あまり話せない人などと話げできたので、とてもいい機会だと思いました。地域の人と交流をしっかりと、楽しく明るい時間を過ごせたので、これからもこの関係を大事にしていきたいです。(小6 男子)

今年はスタンプラリーみたいに輪投げや射的のできる回数が決まっていた、みんながスタンプを集める感じで楽しくできました。お手伝いしながら、射的では年齢によって距離を変えたり、ほしい景品を聞いて近くに移したりして、みんなが楽しめるようにしました。モルックでは、大人から小さい子まで協力して50点ぴったりに目指しました。作戦を考えるなど協力でき、地域の絆が深まったと思います。(中2 女子)



<活動の様子>

柏 原

日 時 6月16日(日) 9時30分～12時00分
会 場 柏原町公民館・運動広場 【参加者77名】
テーマ 『知ろう防災・やろう訓練』&『みんなで遊ぼうGG』

公民館では119番通報を実際に行い、携帯電話からの音声も聞けて実践的訓練ができた。運動広場では、町内の『グラウンドゴルフ愛好会』の方が中心となり、小・中学生、親御さん、地域住民、愛好会メンバーが一体となってグラウンドゴルフを楽しんだ。今年も町内にある老人ホーム「なごみの郷」入所者からの参加も歓迎し(職員付き)、一緒に行うことができた。天候にも恵まれ、楽しい時間を過ごせた。

【ふれあい活動感想文より】

火事の時に一人で部屋にいたら、ドアノブが熱くなってないか確認してから、そっと開けて低い姿勢で避難することが分かりました。ドアノブが熱い場合は、ドアの隙間を埋め、救助が来たら、大きな声で壁をたたいて知らせることも分かりました。消火は火が人の身長までになったら、あきらめて逃げることも教わりしました。グラウンドゴルフはいい雰囲気でした。友達に負けて悔しかったです。(小5 女子)

このふれあい活動では、火災がなぜ起きるのか、もし起きたらどのような行動をするのか、消火器はどのように使うのかを学びました。火災は「火種」「原因となるもの」「酸素」この3つがそろって起きてしまうことが分かりました。花火などをしていて、もし自分に火が燃え移ってしまったら、その場で止まり、手で顔をおおいながら転がり、3つのうちの「酸素」をなくせばよいことを教わりしました。そうならないのが一番だけど、もし火災にあったら、落ち着いて今日習ったことを実践して身を守りたいです。(中3 男子)



<活動の様子>

奥 林

日 時 6月2日(日) 10時00分～11時30分
 会 場 奥林公民館 【参加者 39名】
 テーマ 応急手当入門と消火訓練

蒲郡市なんでも出前講座を活用し、心肺蘇生及びAEDの取り扱いを学んだ。5つの班に分かれて、それぞれ消防の方を講師として人形を使った心肺蘇生の訓練とAEDの機器を用いて使用方法も学んだ。その後、水消火器を用いて標的に向け放水し、消火器による初期消火を体験した。



【ふれあい活動感想文より】

今日、心肺蘇生法の手順と、AEDの使い方について学びました。人が倒れていたら、まず声をかけて、周りの人に助けを求めることがわかりました。胸骨圧迫を行うときは①一方の手の付け根の部分を胸に当て、もう一方の手を重ねて置く②両肘をまっすぐに伸ばして胸が深さ約5cm沈むまでしっかり圧迫することがわかりました。AEDはコンビニやスーパーなどいろんなところにあるそうです。箱を開けると説明してくれて、心臓を挟むようにパッドをはります。すごく勉強になりました。(小5 男子)

今回の奥林ふれあい活動に参加して、僕は命の大切さを教えてもらいました。市の消防本部の方々から「応急手当入門」として心肺蘇生法とAEDの使い方を教えてもらいました。その時言われたことは、もし本当にこのような場面にであった時には、焦らないということです。焦ってしまうと救えない命が出てきてしまうこともあるといわれたので、まずは落ち着いて行動したいです。僕は、もし人が倒れていたら、自分から行動して、人々の命を少しでも救えたらいいと思います。(中3 男子)



<活動の様子>

竹谷町区

日 時 8月13日(日) 18時00分～20時00分
 8月14日(月) 18時00分～20時00分
 会 場 油井児童遊園地 【参加者約 150名】
 テーマ 盆踊り大会

地域ふれあい活動の一環としてのこの活動で「盆踊り」や「おもてなし接待」を通して、地域の子供と大人がふれあい、住民相互の親睦を図り、今回のテーマのコミュニティーの親睦を深めることができた。中学生には模擬店を中心に、小学生には人数のカウントと記念品渡しを手伝ってもらった。



【ふれあい活動感想文より】

僕はふれあい活動に2日間参加しました。1日目は恥ずかしくて輪の中には入れなかったけど、2日目は友達と一緒に踊りました。盆踊りの練習にも参加したこともあって、お手本の人を見なくても踊れました。これまではぜんぜんお祭りに行ったことがなかったけど、今回初めて参加できて、とても楽しかったです。中学生になったらおもてなし接待があるので、もしできたら小さい子にお祭りの楽しさを伝えられるようにしたいです。(小6 男子)

自分が思っているより大勢の人が盆踊りに参加していてびっくりしました。早々に団子は売り切れになってしまい、その他の場所へ手伝いに行ったり、踊りに参加したりして、楽しむことができました。地域のおじさんたちが、指示を出してくれたり、楽しく関わってくれたりして、おもしろ楽しく2日間の活動をする事ができました。(中3 男子)



<活動の様子>

鹿島東

日 時 11月3日(日) 13時00分～15時30分
 会 場 ちびっ子広場 【参加者約400名】
 テーマ 鶴ヶ浜住宅秋祭り

例年夏に企画されていたふれあい活動を、今年度は、秋祭りとして、11月の実施に変更して企画した。内容も、盆踊りから「SDGsチャリティーバザー」「お菓子のつかみ取り」「なつかしの音楽演奏会」「サイコロゲーム大会」「飲食コーナー」を行うふれあい活動へ変更した。バザーの売上金は10,000円にのぼり、全額、福祉関係に寄付をした。



【ふれあい活動感想文より】

僕は、久しぶりの秋祭りで、初めてのリサイクルバザーをしました。人に物を売ることをしたことがなかったので、接客の仕方が難しかったです。お客さんから「これ買います」と言われて、「〇〇円です。」と言おうとしても、とっさに声が出なかったり、声が出ても小さな声になってしまったりと、失敗をしてしまいました。でも、大人の方がお手本を見せてくれて、たくさん買ってくれた人には安くしてあげたり、おまけをつけてあげたりするなどの工夫が大事だと思いました。僕も実践してみたらすごく売ることができました。

(小6 男子)

僕は、この地域のふれあい活動に参加できて良かったです。僕がこのふれあい活動で行った主なお手伝いはチャリティーバザーです。基本的に買い物の代金を受け取る仕事でした。シンプルな仕事でしたが、品物を見てワクワクしている人や、会話をしているときの笑顔、一緒に楽しそうに仕事をしている小学生の姿を見ることは、とてもうれしい気持ちになりました。地域の方たちとのふれあいは、第2の家族のような温かさを感じました。これからも積極的に地域の方に関わっていきたいなと思いました。(中3 男子)



<活動の様子>

松 田

日 時 8月10日(土) 17時30分～18時30分
 19時30分～21時00分
 会 場 松田スポーツ広場 【参加者 約46名】
 テーマ 納涼祭り

松田スポーツ広場にてミニ集会を実施した。風船釣り、輪投げお菓子のつかみ取り、花火などを企画した。この後に盆踊りも実施した。松田地区の住民の方々の親睦を深めることができた。



【ふれあい活動感想文より】

ミニ集会は、ヨーヨー釣りや輪投げ、千本引きなど盛りだくさんでした。友達と一緒に参加できてうれしかったです。今年はみんなでご飯を食べてから、盆踊りでした。外で食べたご飯はとてもおいしかったです。盆踊りは大人も集まり、かき氷やわらび餅を準備してくれました。地域の人たちとみんな楽しく過ごすことができました。(小6 女子)

松田盆踊りの手伝いをしました。例年とは違い、2日目に子供会の行事がありました。子供会会員18人と、その兄弟や姉妹などの人たちが多く、とても賑やかでした。子供会が中心になって糸引きくじや輪投げ、ヨーヨーすくいをしていて、僕はその手伝いをしました。大人の人たちもたくさん集まっていて、みんなが和気あいあいと楽しんでいたのが印象的でした。来年も手伝いしながら自分も楽しみたいです。(中2 男子)



<活動の様子>

鹿島南

日 時 8月10日(土) 19時00分～21時00分
会 場 鹿島児童公園【参加者 約400名】
テーマ 鹿島南常会 納涼盆踊り

納涼盆踊り大会は、毎年8月のお盆の時期に鹿島南常会青少年健全育成協議会が中心となって行っている。司会進行は中学生が交代で行い、小学生は子ども会の役員さんたちと一緒に来場者への飲み物の接待なども行った。多くの方たちが参加してくれたおかげで、大変盛り上がり、世代を超えた交流ができた。



【ふれあい活動感想文より】

僕は、夏祭りの手伝いをしました。仕事は飲み物のところの手伝いです。そこで、氷水の中に入ったペットボトルや缶の飲み物を出す仕事をしました。氷水は冷たくて、取り出すのが大変でした。でも、だんだん慣れてきて、すぐに取り出せるようになりました。友達や先生たち以外の人たちとも交流してみて、普通に話せるようになってうれしかったです。この発見を通して、もっと地域の人たちと一緒に交流していきたいなと思いました。(小6 男子)

今年の祭りは、例年よりも盛り上がっているように感じました。小さい子からお年寄りまで、みんながワイワイと楽しめた祭りになったかなと思います。屋台の方々は優しい笑顔で、かき氷やジュースを提供してくださって、僕たちの心が温まる瞬間でした。来年、僕は高校生になっていますが、来年もこのような祭りになるといいなと思います。(中3 男子)



<活動の様子>

拾 石

日 時 8月11日(日) 19時00分～21時00分
会 場 拾石町スポーツ広場 【参加者 約500名】
テーマ 夏祭り納涼盆踊り大会

例年盆踊り大会の初日は青少年健全育成の行事となっており、多くの小中学生が参加して、輪投げやかき氷、ジュース等のお手伝いをしてもらった。地域の方とも活動を通して交流をすることができた。参加者も多く、楽しいひと時を過ごすことができた。



【ふれあい活動感想文より】

僕は、拾石町の盆踊りが大好きです。この町に引っ越してきてから、毎年参加しています。今までは、母や友達と踊って楽しんでいるだけでしたが、今年は、子ども会の出し物のお手伝いという大きな仕事が僕にはありました。僕は同じ子ども会の友達と一緒に、輪投げの担当でした。とても人気があり、たくさんの方が来てくれたので、列に並んでもらって輪っかを渡す役をやりました。そして、どうしたらみんながスムーズにできるか考えて、こちらからどんどん話しかけながら、輪っかを渡していくことにしました。景品が取れて喜ぶ子、取れなくて悔しがる子、まだ小さくて輪っかが上手に投げれない子など、いろいろな子がいましたが、最後にはみんなが「ありがとう」と笑顔で言ってくれたので、とてもうれしかったです(小6 男子)

僕はボランティアで参加して、ドリンクをふるまうなどの接客をしました。初めは仕事がわからなくて戸惑ったけど、だんだん慣れていきました。いろいろな人と関わり、地域の温かさを感じることができました。

(中3 男子)



<活動の様子>

川 東

日 時 8月12日（月）18時00分～19時30分

会 場 川東児童公園 【参加者 約300名】

テーマ みんなで一緒に楽しく「ふれあい祭り」に参加しよう

川東公民館の行事である盆踊りの初日に併せて「ふれあい祭り」を開催した。内容は「かき氷」「みたらし団子」「綿あめ」等の模擬店を行った。地域の小さなお子様から高齢者の方まで、世代を超えた幅広い年齢の方々に楽しんでいただけた。地域のふれあいの和を深める行事となった。中学生は、会場の準備や模擬店での来客対応等、積極的に手伝ってくれた。地元の大人との交流ができることも、喜ばしく感じた。



【ふれあい活動感想文より】

中学生の人たちがみたらし団子を焼いてくれたり、かき氷を作ってくれたりしました。久しぶりに中学生の友達に会えてうれしかったです。来年は作る側になるのが、楽しみです。初めて見る小さい子がいたり、いつも見るおじいさんやおばあさんがいたり、消防団の人たちがいたりして、にぎやかでした。照れくさかったけど、盆踊りを全力で踊っている大人がいて、楽しかったです。みんな笑顔で最高！（小6 男子）

3年目で慣れてきたお祭りだったけど、今年もグラウンドゴルフのホールインワンがあったりして、楽しいお祭りでした。中学生1～3年生が自主的に仕事をしていてすごよかったです。僕はもう来年はお手伝いできないけど、来年以降も楽しいお祭りになるんだろうなと期待できます！地域の方とお話している人も多く、仲が深まる良い交流の場となっているので、これからも楽しいお祭りを続けていってほしいです。（中3 男子）



〈活動の様子〉

令和6年度塩津地区 地域ふれあい活動一覧予定（実施日順）

月日（曜）時間	地区	内容	場所
6月2日（日）10:00～11:30	奥林	応急手当入門と消火訓練 消防隊員によるAED、心肺蘇生など 訓練…消火器での初期消火体験	奥林公民館
6月16日（日）9:30～11:30	柏原	『知ろう防災・やろう訓練』＆『みんなで遊ぼうGG』 ①防災対策 ・消防職員による防災講習及び訓練 ②グラウンドゴルフ	柏原町公民館 運動広場
7月24日（水）17:00～19:00	西迫	ふれあい夏祭り （輪投げ くじ フランクフルト わたあめ等）	西福寺
8月10日（土）17:00～18:30	松田	ミニ集会（夏祭り）	松田スポーツ広場
8月10日（土）17:00～21:00	鹿島南	盆踊り	鹿島児童公園
8月11日（日）～13日（火） 19:00～21:00	拾石	夏祭り（輪投げなどの遊び、フランクフルト等、くじ引き）	拾石町 スポーツ広場
8月12日（月・休） 18:00～19:30	川東	ふれあい屋台村&盆踊り大会 ・屋外での活動 ・中学生はテント立てなどの仕事をする	川東児童公園
8月13日（火）～14日（水） 18:00～20:30	竹谷町 区	竹谷町区盆踊り大会 児童・生徒と大人たちとのふれあい輪踊り 中学生による団子焼き・かき氷などの接待	油井 児童遊園地
11月3日（日）13:00～16:00	鹿島東	秋祭り ・ミニゲーム ・リサイクルバザー	ちびっ子広場

6 形 原 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 青少年健全育成協議会準備会

- ① 日 時 令和6年4月6日(土) 10時00分～
- ② 場 所 形原中学校 多目的室
- ③ 参加者 学区各総代、鹿島北常会長、鹿川町内会長
各小中学校の令和6年度PTA役員予定者(会長)
各小中学校の校長・校務主任 (計20名)
- ④ 協議事項
 - ・本年度の健全育成協議会の開催日時とテーマについて
 - ・本年度の活動方針、健全育成の今後について
 - ・地区ふれあい活動の運営について
→各地区に分かれてふれあい活動に決定
 - ・小中学校の状況報告について

(2) 青少年健全育成協議会全体会

- ① 日 時 令和6年5月12日(日) 14時00分～
- ② 場 所 形原中学校 剣道場
- ③ 参加者 学区各総代、鹿島北常会長、鹿川町内会長
民生委員・児童委員、主任児童委員、人権擁護委員
更生保護女性会、形原学区市議会議員
各小中学校の令和6年度PTA役員
各小中学校の校長・校務主任(計85名)
 - ・開会の言葉 形原総代会副会長 與田 智昭 氏
 - ・主催者あいさつ 形原総代会会長 藤田 幸三 氏
 - ・来賓あいさつ 蒲郡警察署生活安全課長 守田 哲朗 氏
蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
- ④ 協議事項
 - ・各地区の特色を生かした活動を企画する
 - ・子どもからお年寄りまで参加できるような活動を企画する
 - ・形原地区は合同でふれあい活動を実施
 - コミュニティスクールについて 形原小学校長 三浦 義広 氏
 - 令和5年度 地域安全・青少年健全育成市民大会 意見発表(紙上発表)
 - 報告(小中学校の現況報告) 形原小、形原北小、形原中
- ⑤ 分団会
 - ・ふれあい活動の内容の検討

- ・ふれあい活動の日時、会場の確認
- ・ふれあい活動の内容、役割分担
- ・お礼のことば 形原中学校長 加藤 英雄 氏
- ・閉会のことば 形原総代会副会長 與田 智昭 氏

2 令和6年度 形原地区「地域ふれあい活動」日程

地区名	月日（曜）	開始時刻	集合場所	テーマ 主な活動内容
鹿川	6／2（土）	9:00	鹿川地区全域	『鹿川地区530運動』 ・鹿川地区全域の530運動
鹿島北	8／3（土）	18:00	鹿島北集会所	『第17回鹿島北ふれあい盆祭り』 ・模擬店、ビンゴゲーム
1～8区 北浜区	8／24（木）	14:00	形原中学校運動場	『形原っ子フェスティバル』 ・各地区に分かれて出店 ・チャラボコ演奏 ・フードコーナー設置 ・有志によるステージ発表

3 地域ふれあい活動

鹿 川

日 時 6月2日（土） 9時00分～10時00分
 会 場 三田石材駐車場 【参加者】76名
 テーマ 「鹿川地区530運動」

- ① 開会式 挨拶、自己紹介
 - ② 活動内容
 - ・鹿川信号～風越峠方面、郷中道路～鹿川公民館方面、前田橋～風越峠方面の3コースに別れて清掃活動を実施。
 - ③ 閉会式 挨拶
- ◆ 感想



〈清掃活動の様子〉

今日はそうじをして、町がきれいになってとてもすがすがしい気持ちになりました。落ちていたゴミにはたばこの吸い殻があって、もし火がついたまま捨てられていたら危ないと思い少し不安になりました。

また、そうじをしながらも楽しい冒険ができました。地域の方からヘビイチゴや、カラスの巣があることを教えてもらい、新しい発見ができたことがとても楽しかったです。

（小6 男子）

鹿 島

日 時 8月3日(土) 18時00分～20時30分

会 場 鹿島北部集会所 【参加者】70名

テーマ 「第17回鹿島北ふれあい盆踊り～みんないっしょ～」

- ① 開会式 挨拶、説明
- ② 活動内容
 - ・ビンゴゲーム
 - ・模擬店
 - (団子、輪投げ、ヨーヨーすくい等)
- ③ 閉会式 挨拶



〈輪投げ〉

◆ 感想

今年、中学生になってはじめてふれあい活動を行いました。いままでは楽しむ側で、ただ輪投げをしてヨーヨーを釣って遊ぶだけだったけど、楽しませる側になって、これまでとは違う視点になったことで気づけなかったところまで気づくことができました。

中学生は開会式の前から来て準備をすることとなっていました。輪投げを投げる場所を年齢別にするなど様々な工夫がされていることがわかりました。小さい子からおじいさん、おばあさんまで楽しめるように気を遣ってがんばれてよかったです。来年は後輩が入ってくるので、サポートをしながら来る人たちを楽しませたいです。

(中1 女子)

形原1～8区 北 浜 区

日 時 8月24日(土) 14時00分～18時30分

会 場 形原中学校運動場 【参加者】900名

テーマ 「形原っ子フェスティバル」

- ① チャラボコ演奏
- ② 開会式 挨拶、説明
- ③ 活動内容
 - ・ゲームコーナー
 - ヨーヨーすくい(1区) タブ・トス(2区)
 - ストライクナイン(3区) お菓子釣り(4区)
 - たたいてかぶってジャンケンポン(5区) ダーツ(6区)
 - 輪投げ(7区) ホールインワン(8区) 射的(北浜区)
 - ・フードコーナー
 - たこ焼き お好み焼き フランクフルト フライドポテト
 - 焼きそば かき氷 飲み物 リンゴ飴 シフォンケーキ
 - ・公共施設による啓発活動

- ゼロカーボンシティー（環境清掃課）
- ゴミの分別クイズ（大久保東海）
- 健康推進（ウェルビーイング推進課）
- ④ ステージパフォーマンス
- ⑤ 閉会式 挨拶、総評



〈ヨーヨーすくいの様子〉



〈タブ・トスの様子〉



〈ストライクナインの様子〉

◆ 感想

私はこのふれあい活動で、ヨーヨーのところをやりました。地域のボランティアの方はとても優しく、3年生もすごく優しく活動しやすかったです。3年生と楽しくヨーヨーの準備をしたり、ボランティアの方が手伝ってくれてすごく助かりました。3年生の気遣いがあるって楽しく活動ができました。地域の方とも仲良くなれてすごくいい活動でした。また、やってほしいなと思いました。

（中2 女子）



〈お菓子釣りの様子〉



〈たたいてかぶつての様子〉



〈ダーツの様子〉

◆ 感想

私はヘルメットゲームの小学校高学年を担当しました。いつも祭りではいろいろ回って楽しむ側だったけど初めてボランティアに参加して、こんなに大変なんだと実感しました。ゲームコーナーが始まる前の時間から、地域の人たちがテントを立ててくれたり、必要な道具や景品を準備したりなど、誰かがお客さんたちのために楽しんでもらえるように努力しているから成り立つんだと思いました。今回のふれあい活動は小さい子どもから大人まで楽しんでもらえたし、普段地域の人とあまり関わらないけど災害時のためにもいい機会になって良かったです。

（中2 女子）



〈輪投げの様子〉



〈射的の様子〉



〈ホールインワンの様子〉

◆ 感想

僕はホールインワンのボランティアを行いました。ふれあい活動では、友達と協力しながら来てくれた小さい子の対応をすることができました。ボールを入れようと頑張っていてボールが入ったときのうれしそうな顔を見たら僕たちもうれしくなりました。また、他のところの出し物を体験させてもらったときは、友達が笑顔で対応したりしていて、すごいところをたくさん見るすることができました。この体験をこれからの生活で発揮できるようにしていきたいです。 (中3 男子)



〈ゼロカーボンシティ〉



〈フードコーナー〉



〈キッチンカー〉

4 まとめと来年度に向けて

(1) 青少年健全育成協議会（ふれあい活動も含む）

形原地区では、以下に示すように、大きく4つの会議・活動を設けている。

- ①準備会（4月中旬）……新役員により本会（全体会）の実施案（テーマ、活動方針など）について検討する。
- ②全体会（5月中旬）……本年度のテーマを決定する。ふれあい活動の具体的な内容を検討する。地区の情報交換を行う。
- ③ふれあい活動（6月～11月）……各地区の特色を生かした活動を行う。
- ④反省会（1月中旬）……1年間の反省から次年度の方針について話し合う。

以上のような会議・活動を通して、地域の子どもたちの健全育成に取り組んでいる。

本年度は、地域の活動をコロナ前のように地域が主体となり行うことが決定した。各学校で活動をしていたコロナ期間の4年間に、地域の様々な環境が変化をした中での開催となった。そのため、各地区の総代の方が交代しコロナ以前の経験をもつ方が少ないという課題があった。準備会では鹿島北、鹿川はそれぞれ地区ごとに実施し、それ以外の地区はまとまって活動を実施していくことを決定し、本会議にて関係する方々へ周知をした。

鹿川、鹿島北地区のふれ合い活動では、子どもたちと地域の方が清掃活動・盆祭りを通して一緒になり、関わることができた。他地区の活動は形原中学校の運動場でそれぞれの地区が趣向をこらした出し物を考えていただき、中学生が主体となり地域の方や小学生、保育園の園児たちと温かい時間を過ごすことができた。ステージでは有志の中学生や地域の方の発表があり、地域が一体となって楽しむことができた。

(2) 来年度に向けて

形原地区で合同開催したふれあい活動を来年度も継続するか、それとも各地区に分かれて開催するのか協議をしていく必要があり、反省会で検討していきたい。

テーマを一新する年なので、よいテーマを考え、今後も地域の幅広い年齢層の方とのふれあいを深め、地域の特色を生かした活動を展開していきたい。

7 西 浦 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 青少年健全育成推進協議会準備会

- ① 日 時 令和6年4月22日(月)16時30分～
- ② 場 所 西浦中学校 会議室
- ③ 参加者 学区5地区総代、小中学校PTA会長・副会長・女性部長
小学校PTA生活部員、中学校PTA補導部員
小中学校校長、小中学校校務主任、各通学団団長・副団長
保育園園長、保育園父母の会会長・副会長(計44名)
- ④ 協議内容 ・経過説明 昨年度の西浦地区の健全育成ふれあい活動と課題
・健全育成協議会の開催について 基本方針・活動方針の確認
・ふれあい活動の内容検討 実施日時・場所・役割分担

(2) 青少年健全育成推進協議会

- ① 日 時 令和6年5月9日(木)10時00分～
- ② 場 所 西浦公民館
- ③ 参加者 学区5地区総代、学区市議会議員、公民館長、公民館主事
地域学校協働活動推進員、主任児童委員、児童館長、消防団分団長、
交通安全協会分会長、交通安全推進協議会事務局長、防犯推進協議会代表
更生保護女性会、保護司、民生委員・児童委員、人権擁護委員、少年補導委員
保育園父母の会会長・副会長
小中学校PTA会長・副会長・女性部長・生活部長・補導部長
小中学校校長・校務主任

【来賓】青少年センター所長代理、蒲郡警察署生活安全課少年係長(計53名)

④ 内 容

- | | |
|-------------|---------------------|
| ア 開会のことば | 協議会副会長 馬場総代 壁谷 隆 氏 |
| イ 主催者あいさつ | 協議会会長 竜田総代 尾崎 博敏 氏 |
| ウ 青少年センター挨拶 | 青少年センター所長代理 平松美由紀 氏 |
| エ 蒲郡警察署挨拶 | 生活安全課少年係長 亀井亜希子 氏 |
| オ 協議・報告事項 | |

◎ 基本方針 < 本年度の健全育成スローガン >

西浦人の共通の願い ◎地域みんなで育てる 健やかな西浦っ子
基本方針 「家族とのコミュニケーションを大切にする西浦っ子」
「大きな声で元気にあいさつできる西浦っ子」
「笑顔の絶えない明るい西浦っ子」

◎ 活動方針

- 家庭で子どもと話をしよう。
- 地域・家庭・学校の連携・協力を深めよう。
- 地域みんなで青少年に声をかけ、目をかけ、気をかけよう。
- 家庭の教育力を地域で育てよう。

◎ ふれあい活動について

事務局

◎ スクールガードの活動について

小学校 P T A 生活部長

1 目 的

- ・交通事故からの危険防止、不審者対策、野犬対策として行う。
- ・地域から募ったボランティアと P T A 会員のみなで、子どもたちの登下校を見守り、西浦地区の交通安全と防犯に努める。

2 活動内容 〈できる時に、できる場所で、できることを！〉

- ①子どもの帰宅時刻近くに自宅付近の道に出て近所の子どもを出迎える。
- ②子どもといっしょの登下校 ③登下校時にあわせて近所の散歩
- ④交通立ち番：交差点などで子どもの様子を見守る等、できることをする。

3 構成員

- ・地域から募ったボランティア、P T A 会員全員

◎ P T A 見守り隊について

中学校 P T A 補導部長

1 目 的

- ・地域の人たちと接する機会を通し、生徒の社会性や他者と豊かに関わる力を育む。
- ・生徒の通学路を点検し、危険箇所の確認をする。
- ・今年度の重点目標・・・自ら進んであいさつする態度を養う。

2 活動内容

- ①生徒下校時刻（雨天時は中止）に見守り活動をする。
- ②見守り時は、あいさつ、声かけ、交通安全や防犯（不審者対応）のための活動をする。

3 構成員

- ・ P T A 会員全員 ・ 3 人～ 8 人で班編成をする

◎ 各校園の現状報告

西浦保育園・小学校・中学校

カ お礼のことば

西浦中学校長

小澤 良充 氏

キ 閉会のことば

協議会副会長 馬場総代

壁谷 隆 氏

2 令和6年度西浦地区「地域ふれあい活動」

橋 田

日 時：6月9日（日）9時00分～12時00分

会 場：橋田振興会館 【参加者 72名】

テーマ：西浦紙芝居の会・ビンゴゲーム

橋田についての紙芝居を観て、橋田にも昔から伝わる話があることに驚きました。途中のダンスも含め、このふれあい活動を一緒に作り上げたことから、人とのつながりを感じることができました。（中3）

ふれあい活動で、橋田の昔話を聞きました。大光院のところにあるお地蔵さんの話を聞いて、すごいお地蔵さんなんだと思いました。（小6）



<紙芝居を観る>

知 柄

日 時：5月19日（日） 9時00分～10時00分

7月 7日（日） 8時00分～8時30分

会 場：知柄地区各所・知柄会館・秋葉神社【参加者 160名】

テーマ：町内一斉大掃除・ビンゴゲーム（5/19）

秋葉神社清掃活動（7/7）

ふれあい活動に参加して、天下坂の草をたくさん抜いたことで、天下坂をきれいにできました。地域の方々と清掃とBINGOゲームをして、小学生や大人の方、先生にも楽しんでもらえ、笑顔になっていました。景品の買い出しや清掃は疲れたけど、最後まできっちり終わらせることができました。（中3）

雨で秋葉神社の掃除はなくなりましたが、総代さんをお願いしてもう一度時間をつくっていただき、掃除ができました。暑かったけどやりがいを感じました。（中3）

家の前の草を、近所の人たちで協力してきれいにしました。（小6）



<清掃活動とビンゴゲーム>

稲 生

日 時：7月7日（日） 8時30分～11時30分

会 場：稲生児童遊園地、稲生会館 【参加者 40名】

テーマ：地域ドッジボール大会、ビンゴゲーム

ふれあい活動で稲生のみなさんとふれあうことができてうれしかったです。稲生のみんなで集まることがなかなかないけど、この活動を通してみんなの笑顔を見たら、この企画を考えてよかったと思いました。笑顔がみれたからこそ、企画を考えた側はうれしい気持ちになります。当日までに地域の方が草刈りをしてくださったこと、活動に積極的に参加してくださったこと、改めて西浦、そして稲生の温かさを感じました。
(中3)

ドッジボールとビンゴをしました。楽しかったです。
(小2)



<ドッジボールとビンゴゲーム>

馬 場

日 時：6月9日（日） 10時00分～11時30分

会 場：西浦中学校体育館 【参加者 99名】

テーマ：スポーツ対抗試合、ビンゴゲーム

前日に準備を進め、当日の朝早くにも準備し、万全の状態で行うことができました。スポーツ大会ではチームで団結し、みんなが笑って楽しんでくれました。司会では、しっかり声を出し、大人の皆さんとも協力し合って進めることができました。今年は準備も当日もしっかりと3年生としての行動ができたと思います。
(中3)

中学生のおにいさん、おねえさんといっしょに大なわとびをやりました。たのしくとぶことができました。びんごげーむもたのしかったです。
(小1)



<スポーツ大会の様子>

竜 田

日 時：7月7日（日） 9時00分～12時00分

会 場：消防署西部出張所、龍田会館 【参加者 80名】

テーマ：西部出張所見学、防災訓練、ビンゴゲーム

消防署見学を通して、消防士の方の生活や訓練を知り、大変な仕事をずっとしていてすごいと思いました。消火訓練では、火災発生時の消火方法を学びました。ビンゴでは、司会進行を担当し、うまくいかなかったりハプニングがあったりしたけど、地域の人たちの支えもあり、無事に成功することができました。
(中3)

しょうぼうしゃのいすにすわりました。きゅうきゅうしゃの中をみせてもらいました。
(小1)



<消防署見学と防災訓練>

令和6年度 健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ

1 健全育成協議会・準備運営委員会等について

健全育成協議会では、地区健全育成協議会の活動方針、委託料予算の審議に続いて、それぞれの地区の青少年の生活状況や危険箇所に関する情報交換、ふれあい活動について話し合うという流れで実施されている。今後の継続した取り組みが期待される。

2 地域ふれあい活動について

本年度の地域ふれあい活動は、コロナ以降初めて計画通り実施することができた。一方で長期間続いた酷暑のため、熱中症対策に追われることになった。開催時期や時間帯の見直しをしていただき感謝である。ふれあい活動の準備会に中学生を参加させ、様々な意見を求めたり、開催準備のための仕事を任せたりする地区が増えてきている。こうした地域の大人たちの配慮や期待が、中学生に自己有用感や地区への帰属意識を育み、健全育成に大きな効果がもたらされている。

「ミニ集会」からスタートし、現在の「ふれあい活動」の形に移り変わり始めて30年近く経つ。地域の重要な行事として位置づけ開催している地区も多い。これも総代や常会長、公民館を中心にふれあい活動の意義を十分認識し、開催に向けてのリーダーシップをとっていてくれるからこそである。開催にむけて関係者には開催経費等、様々な負担をかけていると思うが、蒲郡市の特色の一つとして、今後も継続して開催されていくことを切に願う。

Ⅲ 令和6年度 補導及び児童・生徒の状況確認

令和5年度末で、地域補導員（48名）と校外補導員（46名）の委嘱を終了した。昭和38年度から続いた補導員活動に終止符を打った。なお、令和6年4月1日付で補導員要綱を改正し、今後補導の必要があった場合補導員を委嘱できるものとしている。

現在本市は生徒指導上の大きな荒れの状況や問題はほぼ皆無であり、街や学校での様子も概ね良好で落ち着いている。しかし、コロナ明けから約2年が経過した本年8月以降、徐々に警察署による青少年の補導（深夜徘徊等）件数が増加に転じている。SNSを介して市外や学区外の者となつなかりを持つ心配な子どもや若者も少なからず存在する。

市内の7中学校区は、街部と周辺部では子どもや若者を取り巻く環境や状況が異なる。よって今後緊急に補導が必要な状況が生じた学区は、各学区の健全育成協議会単位で独自に補導班や見守り隊を設置いただくことをお願いしていく予定である。

補導及び児童・生徒の状況 確認実施状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
立入指導	0	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	0	62
巡視指導・学校訪問	0	4	7	6	10	2	5	4	0	0	2	0	40
情報交換	3	10	5	1	2	3	3	7	1	4	4	1	44
啓発活動	0	0	3	2	0	0	2	1	1	0	1	0	10

IV 令和6年度 青少年健全育成協力店

令和2年11月に青少年健全育成協力店指定要綱を改正し、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどに協力いただき、地域ぐるみで青少年を見守り育てる環境を整えている。

令和6年度 青少年健全育成協力店一覧

令和6年12月1日現在 59店舗

店舗名	中学校区
株式会社ラグーナテンボス	大塚
ファミリーマート蒲郡大塚海岸	大塚
ファミリーマート蒲郡大塚店	大塚
宮瀬自転車モーター商会	三谷
丸英自転車店	三谷
蒲ちゃん	三谷
有限会社 二葉書店	三谷
合資会社エンジュ堂薬局	三谷
不二屋	三谷
ファミリーマート蒲郡三谷町店	三谷
ファミリーマート三谷店	三谷
株式会社精文館書店 蒲郡三谷	三谷・蒲郡
JOYJOY 蒲郡三谷店	三谷・蒲郡
ユニ株式会社アピタ蒲郡店	蒲郡
ドコモショップ蒲郡駅北店	蒲郡
ミニストップ蒲郡八百富町店	蒲郡
セブンイレブン蒲郡港町店	蒲郡
セブンイレブン蒲郡八百富町店	蒲郡
中川自転車商店	蒲郡
サンヨネ蒲郡店	蒲郡
ミント ひな庄	蒲郡
有限会社 金原書店	蒲郡
ヘアーサロンウカイ	蒲郡
ソフトバンク蒲郡	蒲郡
クスリのアオキ豊岡店	蒲郡
まん天や	蒲郡
ケーズデンキ蒲郡店	蒲郡・中部
ファミリーマート蒲郡上本町店	蒲郡・中部
ミニストップ蒲郡緑町店	中部
ドラッグスギヤマ宝店	中部

店舗名	中学校区
ベンテン	中部
セブンイレブン蒲郡旭町店	中部
コミュニティサロン結	中部
ファミリーマート蒲郡栄町店	中部・塩津
幸 美容室	塩津
スギドラッグ蒲郡西店	塩津
ファミリーマート蒲郡塩津店	塩津
DCM 新蒲郡店	塩津
(株)ヤマダデンキ テックランド蒲郡	塩津
リサイクルショップフカツ蒲郡店	塩津
ウェルシア薬局蒲郡竹谷町店	塩津
au ショップカインズモール蒲郡	塩津
イオン蒲郡店	塩津
ローソン蒲郡工業団地店	塩津
ファミリーマート蒲郡拾石東浜店	塩津
スギドラッグ竹谷店	塩津
ドコモショップ蒲郡店	塩津
アピタ蒲郡店	塩津
セブンイレブン蒲郡形原町店	形原
ファミリーマート蒲郡春日浦店	形原
(株)ヤマナカ形原店	形原
ドラッグスギヤマ形原店	形原
ローソン蒲郡中戸甫井店	形原
観音堂菓子店	形原
ブティックツルヤ	形原
ヘアサロンワタナベ	形原
いとう理容室	形原
クスリのアオキ形原店	形原
尾崎自転車店	西浦



「青少年健全育成協力店」は地域ぐるみで青少年を見守り育て、非行を防止する環境を整えていくことを目的に、昭和57年度から実施している活動です。

協力店として登録いただける場合は、右図のリンクから申請ください。

(問合せ先 蒲郡市青少年センター 0533-66-1168)



申請はこちらから

V 令和6年度 地域安全・青少年健全育成市民大会

主催 蒲郡市青少年問題協議会
共催 蒲郡警察署・蒲郡防犯協会連合会・蒲郡市総代連合会
蒲郡市教育委員会・蒲郡少年補導委員会
蒲郡市生徒指導研究推進委員会
社会を明るくする運動蒲郡市実施委員会

10月23日(水)に蒲郡市民会館中ホールで「令和6年度 地域安全・青少年健全育成市民大会」を実施した。本年度は海陽中等教育学校の生徒が意見発表に参加した。

日時 令和6年10月23日(水) 午後1時30分より

場所 蒲郡市民会館中ホール

次第

- 1 開会のことば
- 2 市民憲章唱和
- 3 あいさつ
- 4 優秀ポスター表彰者紹介
- 5 功労者紹介
- 6 顧問祝辞・来賓紹介
- 7 大会宣言
- 8 小学生・中学生・高校生の意見発表並びに表彰・講評



<意見発表者とポスター入賞者>



<会場の様子>



<入賞ポスター作品>

テーマ「明るい社会・安心のまちづくりのために」

意見発表者

蒲郡東部小学校 6年	佐々木那菜
蒲郡北部小学校 6年	壁谷美緒
蒲郡中学校 3年	横田園明
三谷中学校 3年	鈴木礼音
塩津中学校 3年	山本稜馬
大塚中学校 3年	杉浦愛奈
形原中学校 3年	鈴木結弓
西浦中学校 3年	飯島希海
中部中学校 3年	中山瑠子
海陽中等教育学校 5年	山本凜太郎
蒲郡高等学校 2年	内田あや
蒲郡東高等学校 2年	永塚佳純
三谷水産高等学校 3年	伊藤 優

優秀ポスター入賞者

市長賞	中部中学校 1年	足立 琴
警察署長賞	西浦中学校 2年	尾崎律音
防犯協会連合会長賞	形原中学校 3年	中川ひなの
蒲郡保護区保護司会長賞	蒲郡中学校 1年	太田和花
入選	蒲郡中学校 1年	鈴木由美子
入選	蒲郡中学校 3年	本多美沙
入選	三谷中学校 3年	鈴木礼音
入選	三谷中学校 3年	高橋美央
入選	蒲郡東高等学校 2年	伊藤菜奈子

小学校作文入賞者

蒲南小 6 年 大嶽花奈	塩津小 6 年 榊原美樹	形原北小 6 年 壁谷依里
蒲南小 6 年 李 雨沫	塩津小 6 年 本田かいり	形原北小 6 年 牧野玖海
蒲東小 6 年 高橋穂香	大塚小 6 年 内田幸之介	中央小 6 年 夏目いろは
蒲北小 6 年 渡邊結衣	大塚小 6 年 羽田野明音	中央小 6 年 内藤綾乃
蒲西小 6 年 柴田 凜	形原小 6 年 星野歩夢	三谷東小 6 年 平野綺星
蒲西小 6 年 永島杏奈	形原小 6 年 大竹琉禾	三谷東小 6 年 鈴木心菜
三谷小 6 年 野仲陽菜	西浦小 5 年 壁谷愛華	竹島小 6 年 石田隼基
三谷小 6 年 藤田海音	西浦小 6 年 尾崎 凜	竹島小 6 年 平松龍弥

大 会 宣 言

ようやくこれまでの日常が戻ってきました。本市の児童生徒や青少年がいつそう明るく健やかに成長することができ、事件や事故のない安全で安心して暮らせる住みよい町づくりは、私たち市民共通の願いです。

愛知県の多くの市町村では、コロナ警戒解除以降、一般犯罪や青少年の犯罪や補導件数が元に戻り増加傾向にあります。そんな中、蒲郡市の青少年の犯罪や補導件数は引き続き減少しています。これは本市が誇れる素晴らしいことです。警察の努力のみならず、学校園の教育成果の表れであり、地域の方々が常日頃から子どもや若者を温かく見守り、声をかけていただいているお陰です。

市内の小中学校・高等学校における児童生徒らの非行や問題行動は極めて少なく、落ち着いて実りある教育活動が展開されています。礼儀やマナーの良い子らも多く良好です。

心配事項では、本市においても、SNSによる誹謗中傷・なりすまし被害・性被害・不適切動画掲載などの事案が増え、その低年齢化が進んでいます。不登校や引きこもりの数も依然として増えつつあります。本市の一般犯罪では、空き巣などの侵入盗をはじめ、自転車盗等の犯罪が多く発生していますし、特殊詐欺被害も高齢者に限らず、いまだ後を絶ちません。

こうした中、地域・家庭・学校・関係諸機関がいつそう一体となり、相互の絆を確かなものにし、未来を担う青少年の健全な育成に努め、安全・安心な社会をつくっていかねばなりません。

私たちは、今一度私たち一人ひとりが「犯罪や事故にあわない」「犯罪や事故を起こさせない」「犯罪を見逃さない」「地域や家庭の教育力を高める」を合言葉に、笑顔とともに誇りと熱意をもって、地域安全・犯罪防止・交通事故防止・青少年の健全育成活動に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和 6 年 10 月 23 日

令和 6 年度 地域安全・青少年健全育成市民大会

Ⅵ 令和6年度 子ども・若者支援活動報告

1 令和6年度蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会の活動

(1) 代表者会議 6月10日(月)

・令和5年度活動報告、令和6年度活動方針・計画等の提案

(2) 実務者会議

(6/10)・子ども・若者計画原案審議 ・協議会参加者の紹介報告会

・相談窓口の利用状況と今後の課題

(8/26)・妊娠期～18歳までの支援についての学習会(こども家庭センター長 坂口知子氏)

(11/25)・講演会「～相談員・支援員がたつらくなるのはなぜ～ 複雑なご相談を心穏やかに聴く方法」 一般社団法人パーソナルラボ専務理事東三河支所長 金田文子氏

(3) 一般社団法人パーソナルラボ(旧東三河セーフティネット)との連携を密にした。

(4) 「子ども・若者相談窓口」を市民に案内

・広報がまごおり掲載、イメージキャラクターを掲載したリーフレットを作成し、市民へ周知を図った。

・小中学校や、各地区民生委員会議で、相談窓口設置についての周知を図った。

(5) がまごおり若者サポートステーションとの連携強化

不登校児童生徒に対する相談支援の実施

(6) 相談メールアドレスの二次元コードを掲載した窓口PRカードの作成

卒業時、市内中学3年生全員に配布

2 子ども若者相談窓口の相談件数(令和7年1月22日現在)

○月別相談件数

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
5	36	22	37	37	46	37	30	32	23	18	33	25	376
6	14	27	34	30	12	35	66	33	36	21			308

○実人数(年齢・性別)

年度	幼	小	中	高	大・専	15～19	20～29	30～39	40～	不明	計	男	女	新規	継続
5	1	0	8	6	0	2	6	3	3	1	30	25	5	20	10
6	0	11	6	9	1	2	8	3	0	0	40	30	10	33	7

○主な相談内容

年度	親子関係	虐待・暴力	不登校	いじめ	学業・進路	ひきこもり	発達障害	就労支援	対人関係	その他	合計
5	5	1	8	0	1	8	0	1	1	5	30
6	7	0	16	1	2	4	0	1	2	7	40

お気軽にご相談ください。お待ちしております！

蒲郡市子ども・若者相談窓口

子ども・若者相談窓口って何？

自立に困難を抱える子ども・若者一人一人に寄り添い、適切な支援・相談機関の紹介、情報の提供や助言を行う蒲郡市の機関です。

ニート・ひきこもり、不登校、非行に関する困りごとやいじめなど様々な困難に対して、必要に応じて、教育、福祉、雇用など各分野に支援を依頼し、就労・就学に結びつくような対応に努めます。

どんな相談ができるの？

「就労・就学の不安」「対人関係」「生き方の不安」などの悩み、「不登校」「高校・大学の中退」「ニート」「ひきこもり」「非行に関する困りごと」や「いじめ」など、どんな相談でもお受けします。

誰でも相談に乗ってもらえるの？

蒲郡市に在住、在学のおおむね40歳未満の方が対象です。（小中学生、高校生、大学生も対象です） **相談は無料です。**

本人、ご家族、親戚、学校、地域の支援団体など、どなたからの相談にも応じます。

どのような機関が支援してくれるの？

お話を伺う中で、他機関を紹介したり、他機関と連携して支援する場合があります。支援の中核となる機関は、がまごおり若者サポートステーションで、就労に向けた仕事体験、各種セミナー等を実施しています。不登校児童生徒に対する学習支援も行っています。また、パーソナルラボ（旧：東三河セーフティネット）の家族環境支援士による支援も可能です。その他、子ども・若者支援ネットワーク協議会に参加している、福祉、保健、教育、雇用等の公的機関・民間機関が支援を担当します。

相談方法は？

窓口での面談、訪問相談、電話相談、メール相談となります。



つながり
くろう
じゅくりと
つつじです

<相談日・相談時間>

毎週 月・水・木・金曜日 午前9時～午後4時まで
（祝日と年末年始はお休みです）

<所在地>

愛知県蒲郡市港町17番17号

蒲郡市生命の海科学館1階

<相談申込先>

電話 0533-95-3100

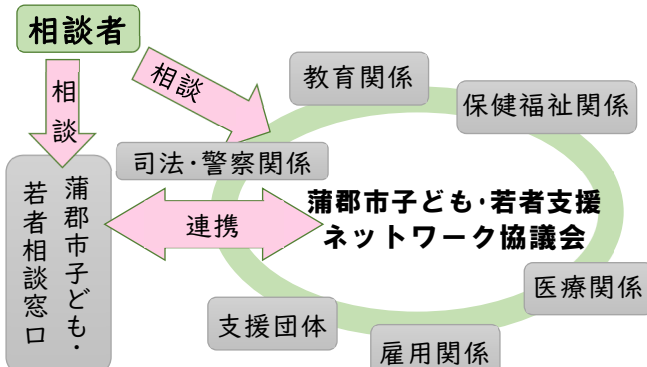
または、LoGo フォームで

（上記 QR コードを読み取ると、下記のアドレスにつながります）

<https://logoform.jp/form/UpCD/99508>

※ 蒲郡市子ども・若者相談窓口は、蒲郡市教育委員会生涯学習課青少年センターが運営しています。

※ 生命の海科学館は火曜日が休館日です。



【おわりに】

「 SNSの利便性と怖さ 」

スマホ携帯は便利。何でもすぐに検索できる。そして、「Line」・「Instagram」・「TikTok」・「X」・「YouTube」をはじめとした各種のSNSや動画配信アプリも極めて便利。家に居ながら、そしていつでもどこでも友達と手軽に繋がれる。また、自分の特定の仲間に自分の動画や意見を発信し合って楽しめる。学習動画教材や趣味の動画教材も多数ある。

SNSや動画配信アプリには利便性もあるが、心配の種も多くある。自分の特定の仲間相手に送信したものが、相手の交友仲間の中にいる自分は知らない人たちにも共有されていく。拡散はとどまらず、結局不特定多数に拡散していく。ある日突然、見ず知らずの他人から連絡が入り、強引に繋がってくるのが往々にしてある。Lineくらいしか活用していない年寄りの自分のところにさえ、「何これ？」っていうラインが入ることがあって困惑するときがあるくらいだ。小中学生などSNSを駆使している者たちにとっては、日常茶飯事だろうし、むしろそれを楽しんでいるのだろう。軽い気持ちで配信したものが、いつの間にか全世界に拡散していく危惧さえあるということだ。

配信された動画や画像からも本人の情報が漏れて拡散する場合がある。本人の背景や本人の目に映ったものから市町や部屋の位置などの個人情報まで特定できるそう。また、自分が配信したアカウントを巧妙に使われて、「なりすまし」被害に遭うこともある。一度拡散されたものは、なかなか削除することができなくて厄介だ。軽々しい配信行為は十分に留意が必要だし、言葉や画像を発信するとき、人としての道徳心やマナーが十分必要だということだ。

各種の情報を取捨選択し、正しい判断ができるよう、子どもたちを育てよう。ひとつの報道や配信されたコメントや画像が「それが真実」とばかり鵜呑みにしないことだ。報道記事や各種コメントは、事実だけでなく、その作者や投稿者の考えや意図に基づいて構成されている。時として、デマや嘘もそこに潜んでいる。人を陥れようとしたり、情報を操作して洗脳しようとしたりしている輩もいるということだ。よからぬ情報に誘い込まれて闇バイトに手を出す子もいる。

どこが事実で、どこが脚色や投稿者の考えなのか、そこをしっかり見極める力が大切だ。世の中の事物現象について自分の意見を持っていないと、「フェイク」に騙され、洗脳されてしまう。洗脳されたものがさらに拡散していくと、あたかもそれが大多数の考えのようになってしまうから恐ろしい。世界史を勉強すると刺激的なデマで民衆を扇動していく政治家らを「デマゴーグ」と呼んだ時代もあった。現状も民衆全体が「デマゴーグ」化している気がしてならない。

オーストラリアでは、16歳未満のSNS使用禁止法案を可決した。道徳心や情報分析力が発達段階にある子らにはSNS使用は不適切だと国が判断したのだ。納得できる場所も多い。日本ではそこまでの覚悟がきかないだろう。

スマホ世界で氾濫する情報に流されない自分をつくろう。そして、子どもたちには、どんな状況下であっても、人として正しい判断ができて、正しい行動ができるように育ててほしいと切に願うばかりだ。

＜表紙のマーク＞

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若さ明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発 行 日	令和 7 年 2 月 28 日
発 行	蒲郡市教育委員会
編集・印刷	蒲郡市青少年センター
〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17	
生命の海科学館内	
電話 0533-66-1168	
表紙印刷・製本	親和原田プリント(株)